

<p>■ <b>氏名 (フリガナ)</b></p> <p><b>中野 志津江 (ナノ シヅエ)</b> 和泉短期大学 専攻科介護福祉専攻 特任助教</p>
<p>■ <b>担当科目</b></p> <p>医療的ケアⅠ・Ⅱ 心とからだのしくみ 人間の発達と疾患 ライフケアの基本 介護総合演習Ⅰ 介護総合演習Ⅱ 介護総合実習Ⅰ・Ⅱ巡回指導</p>
<p>■ <b>専門分野及び関連分野</b></p> <p>リハビリテーション看護 在宅看護 医療的ケア 介護総合実習 死生学 (アドバンス・ケア・プランニング) 【資格・免許・その他】 看護師・介護教員講習会修了・主任指導者講習修了・医療的ケア教員講習会修了・ 介護予防指導士認定・福祉用具専門相談員講習会の課程修了 視覚障害者移動介護従業者養成研修課程及び全身性障害者移動介護従業者養成研修課程修了 日本学術振興会 研究倫理eラーニングコース修了</p>
<p>■ <b>最終学歴</b></p> <p>放送大学 教養学部 (心理と教育)</p>
<p>■ <b>最終学位</b></p> <p>学士</p>
<p>■ <b>職歴</b></p> <p>社会福祉法人 神奈川県総合リハビリテーション事業団 看護部 (1987年4月1日～1993年6月30日) (1993年8月1日～1995年2月28日)</p> <p>社会福祉法人 神奈川県総合リハビリテーション事業団 厚木看護専門学校 非常勤 (1999年9月1日～2000年9月30日)</p> <p>学校法人 鶴嶺学園 神奈川社会福祉専門学校 介護福祉科講師 (1999年9月1日～2007年3月31日)</p> <p>学校法人 鶴嶺学園 神奈川社会福祉専門学校 専任教員 (心とからだのしくみ領域) (2007年4月1日～2017年3月31日)</p> <p>社会福祉法人 神奈川県総合リハビリテーション事業団 厚木看護専門学校 職業実践専門課程 文部科学大臣認定校 専任教員 (2017年4月1日～2022年3月31日)</p> <p>学校法人 和泉短期大学 専攻科 介護福祉専攻 (特任助教) (2022年4月1日～現在に至る)</p>
<p>■ <b>所属学会</b></p> <p>日本看護学会 日本リハビリテーション看護学会 日本介護福祉教育学会 日本臨床死生学会 東京大学大学院人文社会系研究科 死生学・応用心理センター上廣講座《医療・介護従事者のための死生学》参加登録</p>
<p>■ <b>学生指導</b></p> <p>授業内容を理解、復習しやすいように担当科目すべてにコマシラバスを活用。復習問題を毎回解き、解説する。進路相談及び生活指導。介護実習Ⅰ・Ⅱの指導担当。介護観・介護事例研究指導。</p>
<p>■ <b>研究テーマ</b></p> <ol style="list-style-type: none"><li>1. 介護総合実習</li><li>2. 医療的ケア</li><li>3. 死生観</li></ol>

**■ 社会的活動**

1. 2022/04/01～現在に至る 学校法人 鶴嶺学園 評議員
2. 2023/10/10 市民大学「こころとからだのしくみを知り、生活の質を高める」  
1回目 日ごろの生活での安全・安楽な知識と技術  
2023/10/17 市民大学「こころとからだのしくみを知り、生活の質を高める」  
2回目 日ごろの生活環境や動作がからだに及ぼす影響と対応
3. 2022/11/21 相模原市高齢者福祉施設協議会 介護福祉士受験直前対策講座  
「こころとからだのしくみ」「医療的ケア」  
2023/11/20 相模原市高齢者福祉施設協議会 介護福祉士受験直前対策講座  
「こころとからだのしくみ」「医療的ケア」  
2024/11/25 相模原市高齢者福祉施設協議会 介護福祉士受験直前対策講座  
「こころとからだのしくみ」「医療的ケア」
4. 2023/01/11 高大接続授業 古田島高等学校 「視覚が不自由な人への支援・白杖体験」

**■ 研究業績（著書・論文等）****【論文】**

1. 在宅看護論におけるシミュレーション教育の効果（共著）2020年7月
2. 専攻科における介護実習Ⅰの前の不安要因に関する考察  
－インタビュー調査からの質的分析－ 研究紀要 第44号（共著）2024年3月15日

**【教職研究】**

1. 専攻科介護総合実習Ⅰにおける送迎体験実習の目的達成に関する考察  
－実習日誌からの記録の分析－ 教職研究第6号（共著）2022年3月15日
2. 医療的ケアの研修の実際と課題  
－保育士・介護職員への研修を通して－ 教職研究第7号（共著）2023年3月15日
3. 専攻科介護総合実習Ⅰにおける学生の不安軽減のための学び  
－コミュニケーション体験を通しての成果について－（共著）2025年3月

**■ 研究業績（招待講演）**

なし

**■ 研究業績（学会発表）**

なし